

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	加古川市立子ども療育センター		
○保護者評価実施期間	令和6年1月1日		～ 令和6年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和6年1月1日		～ 令和6年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和6年1月1日		～ 令和6年10月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種(保育士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)が訪問支援員として在籍しています。	子ども、保護者、担任等のニーズや困りごとの内容によって、訪問支援する専門職を決めています。また、職種異なる職員2名で対応することで、それぞれの専門的な視点に立った支援を行っています。	より専門性を高めるために、引き続き、各専門の研修を通じて職員の知識・技術の向上に努めてまいります。
2	診療所を併設し多職種が在籍しています(医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・公認心理師)。そのため各専門分野のアセスメントから子どもの発達段階や特性を踏まえた関わり方を助言することができます。	保護者の同意を得た上で、診療所のこどもの情報を活かし、適切な支援につなげています。	子ども、保護者、担任等の困りごとや課題の共通理解、専門分野のアセスメントを活用し、よりよい支援につなげてまいります。
3	地域の障害児支援の中核的役割を担う児童発達支援センターとして、地域の関係機関と連携した支援を行っています。	学校園からの来所相談や見学の受け入れ、事例検討会への参加など、幅広い地域支援を行っています。	子どものライフステージに沿って、関係機関が連携を図り、切れ目のない支援を提供する体制を整えてまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	当センター診療所を受診されている子どもしか利用できません。	現状の職員体制ではセンター受診されている子ども以外へのサービス提供は不可能と考えています。	引き続き、人員確保に努めてまいります。また、各関係機関との連携体制を協議してまいりたいと考えています。
2	相談から訪問の実施まで時間を必要とします。	保育所等訪問支援事業は申し込みから日程調整を行うので、スケジュールが立てにくくなってしまう。	当事業ではスケジュール計画が困難であるために、センター独自事業で申し込み時期と訪問時期を定めた訪問事業を行っています。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 加古川市立こども療育センター

公表日 年 月 日

利用児童数 4 令和6年11月30日

回収数 3

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。				3		こどもの状況に応じて教具教材を準備しています。個別支援計画や実施報告を通じて保護者と共通理解ができるように努めます。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2			1		個室での面談等、プライバシーに配慮した対応をしています。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3					チラシの掲示や配布、相談・面談時に事業説明を行っています。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2	1			・もう少し頻度を増やしてほしい。	こども、保護者、担任などと相談し決定しています。個別支援計画を通じて保護者と共通理解ができるように努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	1			2		施設基準に沿った職員配置を行っていますが、よりニーズに応じた支援が行えるよう、引き続き、人材確保に努めてまいります。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2			1		こどもの状態や特性に応じて、各専門職が連携を図りながら支援を行っています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3				・計画に対して訪問が年2回では成果を上げにくい印象です。せめて、1学期に2回ぐらいの回数は要るのではと思います。	医療機関や保育所等関係機関と連携し、客観的な分析を行い、保育所等訪問支援計画を作成しています。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1		1	1	・計画に対して訪問が年2回では成果を上げにくい印象です。せめて、1学期に2回ぐらいの回数は要るのではと思います。	訪問先施設や担任等のニーズを把握したうえで個別支援計画を作成しています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1			2	・計画に対して訪問が年2回では成果を上げにくい印象です。せめて、1学期に2回ぐらいの回数は要るのではと思います。	保育所等訪問支援ガイドラインを全職員と共有し、共通理解を深めたうえで、報告会等で知識の向上を図っています。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3				・計画に対して訪問が年2回では成果を上げにくい印象です。せめて、1学期に2回ぐらいの回数は要るのではと思います。	支援計画に基づいて、適切な支援を実施しています。児童発達支援管理責任者によるモニタリング、複数の職員による記録の確認を実施しています。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1			2		訪問先施設が相談しやすいよう意思疎通を図りながら、相談や助言を行っています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					契約書、重点事項説明書を用いて説明しています。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					保育所等訪問支援計画を通じて保護者と共通理解が出来るように努めています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1	1		1	・「ここかる」が該当するのであれば、利用しています。	加古川市在住で、こども療育センターに通院されているこどもの保護者を対象に実施しています。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	2			1		必要時に対応できるように相談枠を設けています。課題の共通理解は必要に応じてカンファレンスを行っています。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1		1	1	・一度の訪問で終了しました。もう少し継続して面談などフォローがあると安心です。	訪問支援事業のため、定期的な面談は難しいですが、家族等が相談しやすい関係性や雰囲気作りに努めます。また、モニタリングや実施後の報告の際には丁寧な説明を行い、意思疎通を図ります。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					人権研修などを通じ、人の気持ちに寄り添える人材の育成を目指しています。	
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。			1		2	引き続き、診療所と連携しながら、子どもや保護者からの相談等があった際には迅速に対応できるよう体制を整えます。	
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2				1	言語療法を受けたいのに受けさせていただけなのが残念です。	子ども本人や家庭の状況等を踏まえるとともに、家族が相談しやすいような関係性や雰囲気を作れるよう心がけています。また、必要に応じて、筆談や通訳、電子機器を利用しています。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1				2		支援計画に基づいて、適切な支援を実施しています。児童発達支援管理責任者によるモニタリング、報告会の開催、複数の職員による記録の確認を実施しています。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。					3		子どもが困っている場面などの見学後、担任等と支援内容等について話し合う機会をつくっています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3						訪問後、実施報告書を通じて保護者と共通理解が出来るように努めています。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。				3		ホームページで事業案内を掲載しています。今後、自己評価結果も発信していく予定です。	
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2			1		個人情報の取扱いについて、職場倫理研修会を実施し、周知徹底しています。	
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。					3		訪問中は訪問先施設の緊急時マニュアルが円滑に行われるように協力しています。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1			2		安全確保のための取り組みについて、個別支援計画の説明時に周知を徹底してまいります。また、訪問先等で子どもが安心して生活できる様に、安全の確保を第一に考え実施しています。	
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1		1	1		そのようなケースに対して、個別の場面の見学は避ける等、子どもが嫌がらない工夫をしています。	
	28	事業所の支援に満足していますか。	2		1			・頻度を増やしてほしいです。言語療法も受けさせてほしいです。 ・事業所の対応には満足していますが、そもそも制度として訪問回数が少なすぎる印象です。	言語療法については診察でご相談ください。 訪問回数については、子どもの状況に応じて柔軟に対応していきます。また、実施報告を通じて保護者、担任等と共通理解が図れるように努めます。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
加古川市立子ども療育センター		年 月 日				
		利用児童数			令和6年11月30日	回収数 3
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3			・ポットン落としなど、園でも作れる本人に合ったおもちゃや、生活面（主に食事面）での援助の仕方も具体的に教えていただいたので、次の日から採り入れることができ良かった。	引き続き、困りごとや課題の共通理解とわかりやすい説明に努めてまいります。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3				引き続き、各専門の研修を通じて職員の知識・技術の向上に努めてまいります。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3				引き続き、適時・適切に助言を行うことができるよう知識・技術の向上に努めてまいります。	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2	1		・実際に園での様子を見て、困っているところや遊び方の助言をいただけたので手立ての仕方がわかり良かった。	訪問先の意向を尊重したうえで、こども、保護者、担任等の困りごとや課題の共通理解に努め、よりよい支援につなげてまいります。	
5 事業所からの支援に満足していますか。	1	2		・園での様子やセンターでの様子をもう少し、こまめに連絡し合えるようになれば良いと思った。「これはどうだろう？」と思うことがあっても、なかなか相談する機会がなく、間があいてしまうと状況も変わってくるため（回数が少なかったため）	訪問先施設が相談しやすいような関係性や雰囲気作りを行い、日頃から意思疎通を図りながら、信頼関係を構築してまいります。 また、説明を十分に行うとともに、必要な支援を行います。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<p>・不登校状態だった児が夏季休業明けに不安定になっているのではないかとこの予測のもと設定された訪問だったが、安定して登校できていたため、行動面について助言いただいた。子どもの様子を直接見ていただいてアドバイスをもらえることや、関係機関が間に入って学校を支援して下さることもありがたいと思う。他市では文書でもフィードバックしてもらえることもあるため、できるならばそのような対応もお願いしたい。（今回は支援部が文面にし、担任にフィードバックしました。）</p> <p>・他の事業所も利用している方なので、それぞれの支援内容（手立て）を具体的に共有できると支援の仕方にズレがなくなると思う。</p> <p>・日本語がうまく伝わらず他施設での様子を聞くことや、園での様子がきちんと伝わっているか不安があるので、会議等の話し合いの場があるとありがたいと思った。（この度、通訳してくれる人がいたので保護者の思いも知ることができた）</p> <p>・担任は訪問の際に教えていただきたいことや相談したいことがたくさんあり、お時間を割いていただき感謝しております。園児の園の様子、保護者の対応はわかるのですが、もう一歩踏み込んだ家庭保育の様子、保護者の思いなど、普段園では見れないセンターでの様子や助言などを詳しく教えていただいたり、相談させていただけるとうれしいです。</p>				<p>・訪問後はその日の支援の振り返りをし、こどもの現状や支援内容などを報告しています。また、今後の支援方法を訪問施設先と一緒に考え、共有させていただいています。文書については、保護者への実施報告書がありますので、参考にさせていただけたらと思います。</p> <p>・こどもの状態や必要な支援について、他の事業所と共通認識を持つとともに支援内容を相互に理解し、適切な支援を進めることは重要であると認識しています。サービス担当者会議や連絡を密に行うことで情報共有を行っています。</p> <p>・保護者の同意があれば、診療所受診（診察・心理相談・リハビリテーション）時の同席が可能です。また、新たな相談がございましたらご連絡いただけると対応を考えてまいります。</p>		

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	加古川市立こども療育センター		公表日	年 月 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 制 運 営 体	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3		・対象児、訪問場所等に合わせて持参したり、訪問先にあるものを使用している。 ・特に不都合はなかった。毎回決まったものがあるのではなく対象児に合わせて準備している。多くは個別訓練のグッズと併用。	個別支援計画や実施報告を通じて保護者と共通理解ができるように努めます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		・2名で対応し、特に不都合はなく、適切であると考え。	施設基準に沿った職員配置を行っていますが、よりニーズに応じた支援が行えるよう、引き続き、人材確保に努めてまいります。
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		・参画はできる状況と思われる。訪問先の環境変化(新学年により環境改善など)により自然解決に至る場合もあった。 ・事業概要は職員に周知されており、担当者間で随時事業についての気づきを共有している。 ・会議において職員間の情報共有をおこなっている。	よりPCDAサイクルによる業務改善を進めることができるよう、現状の適切な把握と職員間の情報共有に努めてまいります。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		3	・保護者向け評価表の活用はできていない。	重点事項説明書で苦情やご意見を伺う窓口をお知らせしていますが、保護者向けの評価表はありません。今年度より「保護者からの事業評価」を活用してまいります。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・各担当者に意見交換、共有している。 ・担当者間で随時、事業についての気づきを共有している。	引き続き、訪問支援員からの報告会を開催し、こども、保護者、担任等のニーズを把握し、業務改善に努めます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	・現時点では、第三者による外部評価を受ける仕組みがない。 ・今後必要に応じて実施を検討する。	現時点では第三者による外部評価は行っていませんが、実施について検討していきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		・実施している。 ・ともに機会がある。外部研修参加は任意、内部研修実施はニーズに合わせて。	引き続き、研修を実施し、専門性の向上を図ります。また、関係機関と連携を図りながら、支援の質の向上に努めます。
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		・子どもに対しては個別場面で評価を行い、保護者に対しては事前面談を行いニーズを把握するようにしている。	医療機関や保育所等関係機関と連携し、客観的な分析を行い、保育所等訪問支援計画を作成しています。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		・担当者間で情報共有を行い、支援計画については事前に承認を得る形をとっている。	保育所等訪問支援ガイドラインを全職員と共有し、共通理解を深めたうえで、こどもの特性等について情報共有し作成しています。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		・訪問先への現状の聴き取りや課題等について確認をしている。 ・訪問先に問題点や課題について聞き取り、支援計画に反映している。	訪問先施設や担任等のニーズを把握したうえで個別支援計画を作成しています。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		・担当者で支援計画や実施報告を共有している。	支援計画に基づいて、適切な支援を実施しています。児童発達支援管理責任者によるモニタリング、報告会の開催、複数の職員による記録の確認を実施しています。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		・各担当者のアセスメントや所見を総合的に把握するようにしている。 ・評価時に使用するツールは子どもの様子によりケースバイケース	引き続き、標準化されたアセスメントと独自のアセスメントの結果を踏まえて、計画書を作成します。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3		・対応している。	保育所等訪問支援ガイドラインを全職員に回覧し共通理解を持った上で、報告会を開催し、考える機会をつくっています。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		・口頭や書面等にて各担当が確認できるようにしている。 ・担当者で支援計画や実施報告を共有している。 ・担当者だけでなく、リハビリテーション部として共有できており、様々な意見を取り入れることができている。	支援計画に基づいて、適切な支援を実施しています。児童発達支援管理責任者によるモニタリング、報告会の開催、複数の職員による記録の確認を実施しています。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		・当日の流れ等について確認している。 ・一人で対応している事が多い。	引き続き、事前打合せにおいて、各訪問支援員の専門的な知見に基づき、支援内容等の確認を行っていきます。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		・実施報告を通じて担当者情報共有を行っている。	報告会を開催し、情報共有を行っています。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		・訪問先の活動の文脈の中で実施している。	訪問先の理念や支援手法を踏まえ、子どもの課題や支援方法等を一緒に整理していきます。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		・現場で記録をとりカルテへ記載している。併せて実施報告書を作り、承認を得るようにしている。	実施報告書を活用し、より多くの職員で支援の検証・改善に繋げてまいります。
関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	1	・訪問先での課題が改善し、ニーズが解決されたと判断している（訪問先もニーズ解消）が、保護者は継続して様子を見て欲しいとの意向はあるようであった。相談を終結する判断は難しいと感じる。 ・その後の経過は診察や訓練場面で把握している。訪問支援自体は単発で終わるが、必要に応じて再訪問を行うなど柔軟に対応している。	子どもの状況に応じた保育所等訪問支援計画の見直しが行えるよう、相談支援事業所とも相互連携を図り、情報共有を行っています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		・施設として対応している	職員間での情報共有を図り、担当者会議等では保育所等訪問支援の提供状況を踏まえて、目標への達成度や気づきの点等の情報を積極的に共有していきます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		・必要に応じて連携をしている。 ・訪問支援のほかに、地域と連携する事業を複数展開している。	定期的な会議の開催、もしくは必要に応じて連携しています。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1	・個人情報等の課題によりうまく引き継いでいないこともある。ケースバイケース ・保育所等と学校の間でどのような申し送りがあるかを監督する立場にないが、保護者の希望で書面を通じて情報提供を行う場合がある。	日頃から保護者及び就学先との連携を図り、情報共有を図りやすい環境を整えていきます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3		・対応している。必要に応じて他部門から助言を得る。	引き続き、他の専門機関との連携を図りながら、職員を外部研修等に参加させて質の向上に努めてまいります。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3		施設として対応している。	引き続き、参加します。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		対応している。子どもの様子については随時診察や個別訓練の場面で共有している。	引き続き、診療所と連携しながら、子どもの状況を把握したうえで、保護者との共通理解を持てるよう面談を行います。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		・施設として対応している。 ・心理師による、保護者支援の教室を開催している。	必要に応じて、家族が参加できる研修会等の情報提供を行います。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		・対応している。	契約書、重点事項説明書を用いて説明しています。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		・訪問先に聞き取りを行う際に事業の概要について説明している。	日程調整時に訪問先施設へ連絡し、事業概要や子どもの困りごとや保護者のニーズなどの情報共有を行っています。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		・保護者と面談時に説明を行っている。	保育所等訪問支援計画の作成にあたり、子どもや保護者のニーズを聞き取ったうえで個別支援計画を作成しています。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		・保護者と面談時に説明を行っている。	支援計画書を通じて保護者との共通理解を図り、利用に対する同意をいただいています。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		・施設全体（診療所）の取り組みとして実施している。	訪問支援事業のため、定期的な面談は難しいですが、家族等が相談しやすいよう関係性や雰囲気作りを努めます。また、モニタリングや実施後の報告の際には丁寧な説明を行い、意思疎通を図ります。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3	・父母の会、きょうだい交流などの活動支援は特に実施はしていない。	訪問支援事業のため、保護者同士が交流する機会を設けることは難しいですが、保護者ニーズがあれば、検討してまいります。
	33	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		・施設全体（診療所）として適切に対応できていると考える。	引き続き、診療所と連携しながら、子どもや保護者からの相談等があった際には迅速に対応できるよう体制を整えます。

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	・定期通信の発行などは行っていない。	ホームページの情報を常に最新の情報に更新し、わかりやすい内容を心がけます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	・留意している。	個人情報の取扱いについて、職場倫理研修会を実施し、周知徹底しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	・口頭だけではなく紙に書いて伝える場合がある。 ・稀に手話通訳をお願いする場合がある。 ・電話で蜜に連絡をとることや、外国籍の方には翻訳アプリを使用し、コミュニケーションをとることもあった。	子ども本人や家庭の状況等を踏まえるとともに、障害種別に応じた意思の疎通や情報伝達のための配慮を心がけます。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	・個別訓練を見学してもらったり、他事業の利用を勧めている。	訪問先が相談しやすいように、園長会議等を利用し、事業説明を行うなど日頃から顔の見える関係作りを行っています。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	・訪問実施日に話し合いの時間を設けて頂いている。 ・訪問終了後、その場で情報共有を行うようにしている。	実施後、子どもや訪問先施設における子どもへの関わり方の変化などを踏まえ、柔軟に、支援方法等を見直していきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	・担当者から実施時の様子を報告している。	訪問後、実施報告書を通じて保護者と共通理解が出来るように努めています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	・留意している。	個人情報の取扱いについて、職場倫理研修会を実施し、周知徹底しています。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	・対応している。	訪問先施設が相談しやすいよう意思疎通を図りながら、相談や助言を行っています。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	・職場内の研修に参加している。	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、研修会を実施しています。また、保護者と情報共有を図ったうえで実地訓練等を行っています。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	・職場内の研修に参加。安全計画の有無は不明だが、安全に配慮した上で子どもへの対応を行っている。	当施設全体で研修を実施し、安全管理について周知徹底を行っています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	・安全に配慮した上で子どもへの対応を行っている。 ・ヒヤリハット事例については書面での回覧・会議での報告をおこなっている。	ヒヤリハットについては速やかな事例報告・再発防止対策などの情報共有を行ってまいります。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	職場内の研修に参加している。	虐待防止を目的とした研修会を実施し、周知徹底しています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		身体拘束防止を目的とした研修会を実施し、周知徹底しています。また、保護者と情報共有を図ったうえで個別支援計画に記載しています。